

# 『共生・協働』でまちづくり vol.34

『共生・協働』とは、自治会やNPO法人・ボランティア団体・企業等多様な主体（パートナー）と行政が相互の理解と信頼のもと、目的を共有し、連携・協力して地域の公共的な問題の解決を目指すことです。

曾於市内でも「共生・協働の地域社会づくり」を進めています。市民の皆さんにも理解を深めていただくため、地域づくりやボランティアに意欲的に取り組む団体の活動等を紹介いたします。

## 「なたね油」でまち興しにチャレンジ!!

NPO 法人 **なのはな倶楽部**

【お問い合わせ先】

住 所 末吉町諏訪方 7918 番地 2

代 表 米良昌志

☎ 0986 - 76 - 6434



なのはな倶楽部のメンバー

「自分たちの故郷は自分たちで興そう」との理念を持った10人の仲間が勉強会を行い、曾於市の人や物の資源を最大限に有効活用して、地元農業者、商工業者、一般市民の抱えている問題を少しでも解決できないか、地域の活性化につなげていけないか等々、ここ数年議論を交わしてきました。

その中で、自分たちの地域の「まち興し」は地域住民の力で実践すべき時代を迎えていると考え、自分たちの活動をさらに活発化し、行政や関係機関、地域住民との連携を図り、社会的評価を受け、曾於市のみならず県内や、全国に、情報発信をしていく為に、今年4月、NPO法人設立の行動を起こし、県に申請、6月に認証されました。

法人化した今、NPO法人「なのはな倶楽部」は、今後の取組みとして「共生・協働」で地域おこしに、曾於市にある資源（人、物、情報等）を生かして、次の事業を企画していきます。

- ・環境保全や住民参加型の地域おこし事業
  - ・耕作放棄地、遊休農地を活用した農産物の栽培
  - ・特産品の開発・販売
  - ・青少年健全育成事業
  - ・高齢者・障がい者の生きがいづくり支援事業
- これらの事業を行うことにより、地域の住民が「こ



遊休農地に満開の菜の花

のまちに住んで良かった」と誇れる故郷を作るとともに、地域から、たくさんの人に情報を発信し地域の活性化に寄与していきたいと考えております。

去年は、試験的に遊休農地を利用してアブラナの栽培に取り組みました。10人の会員のメンバーは職業もいろいろ、数人の農業者もアブラナに関しては初めてのことで、試行錯誤の栽培でありましたが、収量200キロの収穫には皆驚き、その時の感激は忘れられません。今後はアブラナから絞った「なたね油」を主原料に、ドレッシング、石鹸、その他の製品への開発を旨とし、曾於市の新たな特産品になるようチャレンジしてみたい。他にも曾於市にはまだまだ隠れた資源が眠っていると思います。これらを掘り起こし、特産品として開発、販売につないでいくことで曾於市の振興、発展に少しでも貢献し、寄与していくことが私達メンバーの目標です。

### 会員募集中

私たちといっしょに活動してみませんか。

NPO法人「なのはな倶楽部」では活動に賛同し、協力して下さる会員を募っています。興味のある方、是非ご連絡ください。